

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



東北からの帰途の中で公明党の連立離脱の報道を知りました。野党連合や新たな連立政権模索と政局が揺れ動く中、自民党と日本維新の会の政策協議が急速に進みました。各地の選挙区で激しい戦いを繰り広げてきた両党。政策においても積極財政で日本を強くすることを決意する自民党の高市総裁と行政・社会保障制度改革を掲げる日本維新の会の連立はそう簡単な話では無いですが、このような時こそ党利を脇に置き、大局的な国家観を共有して日本を前に進めてほしいと期待しています。熊本においても投票率が増加し新しい政党が伸びています。私も次の時代をつくるための政策提案を続けます。

【10月8日～10日 海の再生及び環境対策特別委員会 東北視察】

10月7日に定例県議会が閉会し、翌8日から10日まで岩手県宮古市の国立研究開発法人水産技術研究所と㈱かまいし DMC の地域 DMO 事業、宮城県水産技術総合センター、㈱青山商事の太陽光パネルリサイクル工場を視察してきました。東北の人々の生活を変えた大震災から14年、今の厳しい状況と海洋環境の変化に対して陸上養殖や観光等新たな産業に挑戦する姿に、やはり地域課題の解決には優秀な人材の活躍が不可欠だと感じました。



書籍紹介



『リーダーの仮面』

「いちプレーヤー」から「マネージャー」に頭を切り替える思考法
安藤広大/著

近年、多くの経営者、リーダーが注目している経営学のトップ 安藤広大氏の著書。人手不足、働き方改革が進む現代、悩み多き企業の管理職に組織とは何か、「感情」ではなく「仕組み」で組織運営を行う重要性を説いています。リーダーの仮面を被り、一見冷酷に見える結果重視の考え方こそ、社員の成長と確かな将来に繋がるという信念は、私が学んでいる純粋倫理の教えと矛盾しないものだと思います。

今月の数字

熊本県の木材産出額

144 億円 (令和5年度)

熊本県の森林は県土の6割、約46万haに及び、その60%以上を人工林が占めます。木材産出額年間144億円の殆どはスギ(全国シェア4位)とヒノキ(同1位)によるものです。森林には山地防災や水源涵養、CO2の定着など多面的な機能があり、多くの生き物の生きる場となっています。その一方で木材価格の低迷に起因する林業者の減少等によって森林間伐面積の減少が続いており、今後は森林の集約化と自治体による管理体制の充実とともに保全林の災害に強い針広混交林や広葉樹林への誘導が考えられています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

【学校】託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

【経歴】現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

【資格】宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター(相続対策専門士)・2級建築士・CFP(国際認定FP資格)・防災士